



後楽園などを世界遺産登録する活動について話す小嶋社長

永忠の業績 世界遺産に

おかやま 塾 両備小嶋社長が講演

地元で活躍する著名人の講演を通し、岡山の未来を考える「第八回おかやま適塾」が二十六日、岡山市柳町の山陽新聞社さん太ホールで開かれた。運輸業などの両備ホールディングス(同市錦町)の小嶋光信社長が「世界遺産登録へむけて岡山の農業土木遺産・関谷学校・後楽園」と題して講演した。

小嶋社長は、岡山藩郡代津田永忠が残した後楽園(岡山市)や関谷学校(備前市)といった文化財を世界遺産へ登録する取り組みを紹介。「子や孫世代に先人の偉業をしっかりと伝えるためにも『世界的なブランド』にしたい」と強調した。

永忠が信奉した陽明学にも触れ、「その精神を表す『知行合一』(知識と行動の一致)はグループの合言葉になっている」と話した。約三百人が聴いた。

おかやま適塾は産学官の幅広い分野から講師を招き、毎月第二、第四火曜日に行っている。(吉野敦裕)